



# 左右傾運動



様に斯る思想又は主義抱する團体或は其思想を塊せんとする運動を右傾思想と呼び之に反抗する思想を左傾思想又は團体と呼ぶ。右傾思想は左傾團体又は運動となるに至つたのである。

に對して白色恐怖と  
居るといふことであ  
が少くない。現に野  
行を榜して暴力行爲をな  
國にありても右傾思  
想が少くない。現に野  
於て

地主の年賃は、大正時代のもので、その額は、年間五百六十石と云ふ。これは、其の二倍である六寸又葉子一貫が、一メートルの倍度量衡である。又三三と百六十六石は、其の二倍である二キログラムに當る。これが、年賃の原因である。大正時代の年賃は、年間五百六十石である。

福島縣度量衡公  
方商工技師 増  
法度量衡實施第七  
春を迎ふるに際し  
行上に關する所懷を  
述ぶるは最も欣快實  
であります。

日 田 義 夫 検定所長 院し所懷を述ぶ

木	芳之助(一回)	小	久	久	9
少佐若松晴司	尉ニテ本年八月迄居勤	大	鈴木島井巻崎	中	野正太(6)
兵少佐若生清司	前國田松崎	鈴木島井	吉田忠一(6)	高	泉吉貞(6)
静養ノ目的ニテ申	前朝今	越	乙彦夫(7)	崎	多秀夫(7)
	渡邊藤純初	廣金正一(6)	9	三郎(9)	9
	二月十五日付	男久永平男(6)	21		21
		2118161615141210			

母校の爲社會の爲  
らんことを御願申  
に御閑散の折りに  
も御出張なされ  
即には是非拙宅へ  
寄り下され度草屋  
と粗茶など差上ぐ  
にて喧しき當町の  
観察あつても宣敷  
と存じ候  
の御發展を祈り尙  
送付に對する御禮  
五様

が磐城炭礦にあり、  
又名が喧傳されたがへ  
如何なる状態であつ  
たるを得ない又同炭  
礦會は生れたとい  
ふが未だ知るを得  
治會は相當の會員  
がに員自身が皆熱  
心に見ゆるが未だ支  
部に著しく他の諸會と  
至らざる模様であつ

此會が或は  
使ならずやと  
より解け得ら  
せらるゝに至  
當有力に且石  
るものがある  
要するに右傾  
運動は何時も  
非常に困難が  
上の諸團体に  
努力を希望し  
ある。若のであ  
る。若設立部  
あるか詳  
灰礦にふこと  
待ないる點  
を有し誠にし  
あるのである  
る。若のであ  
る。

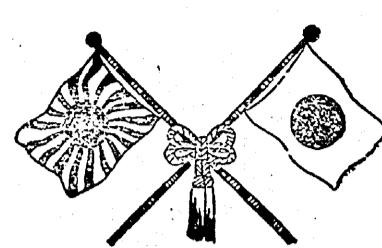
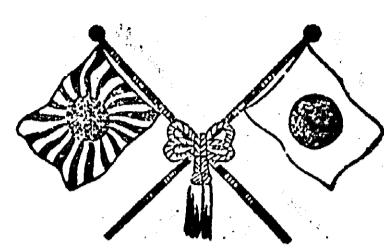
宗教弘通の誤解が一般され、眞に了解すれば必ずや相城地方を利すと思はれる。従運動或は倫理同じ事ながら従ふことで以て止まないも充分なる奮闘等の想はるゝも毛織物の貿易も

覚えられないのでは  
えない  
心慢である  
くの中には自分は覺  
相手が知らぬから使  
困る云ふ向もある  
あるが、これ迄の毛  
シス、洋菓子のボン  
物のヤールの如きは  
現はす量を知らない  
何等差支なく取引き  
たのに見ても何等心  
いのである。

若松中佐	平高等小
師團參謀	地方幼年
經テ今日	大正九年
長ニ從上	大正九年
本年六月	大正九年
騎兵第十二	大正九年
行兩氏ハ	大正九年
レタルナ	大正九年
人生デアツ	大正九年
若生中佐	大正九年
ル履物商	大正九年
丁目中野	大正九年
小学校	大正九年

注ハ亦非村出身ニテ  
小學校ヨリ仙臺陸軍  
軍學校及士官學校ヲ  
卒ニ至リ最近迄第二  
課トシテ昨年夏師團  
ニテ來平セル事アリ  
乃千葉縣津田沼ナル  
十六聯隊付ヲ命ゼラ  
ノリ山崎清三廣田徳  
小學校時代ノ同窓  
タ

(豫)富樺 勝秀  
(豫)小 菅溢也 1717  
豫片寄 政直  
新妻 壱男 1818



# 新賀年

一月元旦

**金商久釜屋商店**  
平町五丁目  
電話九番、一三九番  
諸橋元三郎次郎  
橋久守太郎  
中野天源一郎  
吉增藏

**龜中野吳服店**  
平町三丁目  
電話六七番  
松本榮一  
中野康平

**石城郡銀行組合**  
平町二丁目  
電話一三番  
荒物商大一屋

**清閑内油店**  
支店油槽所  
茨城縣關本驛前  
電話半鶴三七番

**西村屋藥鋪**  
平町二丁目  
鈴木邦三郎  
木堅助  
參番

**渡邊**  
玉川渡  
旅館住吉屋本店  
青天目源一郎  
話一五九番

**渡邊商事會社長**  
平町紺屋町  
高玉野  
佐野  
平町特派員  
明治生命保險株式會社

**旅館住吉屋本店**  
青天目源一郎  
話一五九番

**物商久釜屋商店**  
平町二丁目  
電話九番、一三九番  
諸橋元三郎次郎  
橋久守太郎  
中野天源一郎  
吉增藏

**金商久釜屋商店**  
平町二丁目  
電話六七番  
松本榮一  
中野康平

**金商久釜屋商店**  
平町一丁目  
學校主  
石城市婆看護婦學校

**金商久釜屋商店**  
平町一丁目  
外講師一同  
坂本千代衛

**金商久釜屋商店**  
平町料理事組合  
赤心堂病院  
高久病院

**金商久釜屋商店**  
平町三業保險組合  
組合長宮本忠太

**同業組合**  
平砂糖商  
皆川新一  
北海屋商店  
電話八〇九番

**平町會議員**  
小學校長會  
石城郡第三區  
平町公私立學校長  
懇話會

**平町會議員**  
平町二丁目  
花澤久一郎支店  
電話七三〇番

**平町二丁目**

**渡邊**  
玉川渡  
旅館住吉屋本店  
青天目源一郎  
話一五九番

**渡邊商事會社長**  
平町紺屋町  
高玉野  
佐野  
平町特派員  
明治生命保險株式會社

**旅館住吉屋本店**  
青天目源一郎  
話一五九番

**金商久釜屋商店**  
平町二丁目  
學校主  
石城市婆看護婦學校

**金商久釜屋商店**  
平町一丁目  
外講師一同  
坂本千代衛

**金商久釜屋商店**  
平町料理事組合  
赤心堂病院  
高久病院

**金商久釜屋商店**  
平町三業保險組合  
組合長宮本忠太

**同業組合**  
平砂糖商  
皆川新一  
北海屋商店  
電話八〇九番

**平町會議員**  
小學校長會  
石城郡第三區  
平町公私立學校長  
懇話會

**平町會議員**  
平町二丁目  
花澤久一郎支店  
電話七三〇番

**平町二丁目**

**渡邊**  
玉川渡  
旅館住吉屋本店  
青天目源一郎  
話一五九番

**渡邊商事會社長**  
平町紺屋町  
高玉野  
佐野  
平町特派員  
明治生命保險株式會社

**旅館住吉屋本店**  
青天目源一郎  
話一五九番

**金商久釜屋商店**  
平町二丁目  
學校主  
石城市婆看護婦學校

**金商久釜屋商店**  
平町一丁目  
外講師一同  
坂本千代衛

**金商久釜屋商店**  
平町料理事組合  
赤心堂病院  
高久病院

**金商久釜屋商店**  
平町三業保險組合  
組合長宮本忠太

**同業組合**  
平砂糖商  
皆川新一  
北海屋商店  
電話八〇九番

**平町會議員**  
小學校長會  
石城郡第三區  
平町公私立學校長  
懇話會

**平町會議員**  
平町二丁目  
花澤久一郎支店  
電話七三〇番

**平町二丁目**

**渡邊**  
玉川渡  
旅館住吉屋本店  
青天目源一郎  
話一五九番

**渡邊商事會社長**  
平町紺屋町  
高玉野  
佐野  
平町特派員  
明治生命保險株式會社

**旅館住吉屋本店**  
青天目源一郎  
話一五九番

**金商久釜屋商店**  
平町二丁目  
學校主  
石城市婆看護婦學校

**金商久釜屋商店**  
平町一丁目  
外講師一同  
坂本千代衛

**金商久釜屋商店**  
平町料理事組合  
赤心堂病院  
高久病院

**金商久釜屋商店**  
平町三業保險組合  
組合長宮本忠太

**同業組合**  
平砂糖商  
皆川新一  
北海屋商店  
電話八〇九番

**平町會議員**  
小學校長會  
石城郡第三區  
平町公私立學校長  
懇話會

**平町會議員**  
平町二丁目  
花澤久一郎支店  
電話七三〇番

**平町二丁目**

**渡邊**  
玉川渡  
旅館住吉屋本店  
青天目源一郎  
話一五九番

**渡邊商事會社長**  
平町紺屋町  
高玉野  
佐野  
平町特派員  
明治生命保險株式會社

**旅館住吉屋本店**  
青天目源一郎  
話一五九番

**金商久釜屋商店**  
平町二丁目  
學校主  
石城市婆看護婦學校

**金商久釜屋商店**  
平町一丁目  
外講師一同  
坂本千代衛

**金商久釜屋商店**  
平町料理事組合  
赤心堂病院  
高久病院

**金商久釜屋商店**  
平町三業保險組合  
組合長宮本忠太

**同業組合**  
平砂糖商  
皆川新一  
北海屋商店  
電話八〇九番

**平町會議員**  
小學校長會  
石城郡第三區  
平町公私立學校長  
懇話會

**平町會議員**  
平町二丁目  
花澤久一郎支店  
電話七三〇番

**平町二丁目**

**渡邊**  
玉川渡  
旅館住吉屋本店  
青天目源一郎  
話一五九番

**渡邊商事會社長**  
平町紺屋町  
高玉野  
佐野  
平町特派員  
明治生命保險株式會社

**旅館住吉屋本店**  
青天目源一郎  
話一五九番

**金商久釜屋商店**  
平町二丁目  
學校主  
石城市婆看護婦學校

**金商久釜屋商店**  
平町一丁目  
外講師一同  
坂本千代衛

**金商久釜屋商店**  
平町料理事組合  
赤心堂病院  
高久病院

**金商久釜屋商店**  
平町三業保險組合  
組合長宮本忠太

**同業組合**  
平砂糖商  
皆川新一  
北海屋商店  
電話八〇九番

**平町會議員**  
小學校長會  
石城郡第三區  
平町公私立學校長  
懇話會

**平町會議員**  
平町二丁目  
花澤久一郎支店  
電話七三〇番

**平町二丁目**

**渡邊**  
玉川渡  
旅館住吉屋本店  
青天目源一郎  
話一五九番

**渡邊商事會社長**  
平町紺屋町  
高玉野  
佐野  
平町特派員  
明治生命保險株式會社

**旅館住吉屋本店**  
青天目源一郎  
話一五九番

**金商久釜屋商店**  
平町二丁目  
學校主  
石城市婆看護婦學校

**金商久釜屋商店**  
平町一丁目  
外講師一同  
坂本千代衛

**金商久釜屋商店**  
平町料理事組合  
赤心堂病院  
高久病院

**金商久釜屋商店**  
平町三業保險組合  
組合長宮本忠太

**同業組合**  
平砂糖商  
皆川新一  
北海屋商店  
電話八〇九番

**平町會議員**  
小學校長會  
石城郡第三區  
平町公私立學校長  
懇話會

**平町會議員**  
平町二丁目  
花澤久一郎支店  
電話七三〇番

**平町二丁目**

**渡邊**  
玉川渡  
旅館住吉屋本店  
青天目源一郎  
話一五九番

**渡邊商事會社長**  
平町紺屋町  
高玉野  
佐野  
平町特派員  
明治生命保險株式會社

**旅館住吉屋本店**  
青天目源一郎  
話一五九番

**金商久釜屋商店**  
平町二丁目  
學校主  
石城市婆看護婦學校

**金商久釜屋商店**  
平町一丁目  
外講師一同  
坂本千代衛

**金商久釜屋商店**  
平町料理事組合  
赤心堂病院  
高久病院

**金商久釜屋商店**  
平町三業保險組合  
組合長宮本忠太

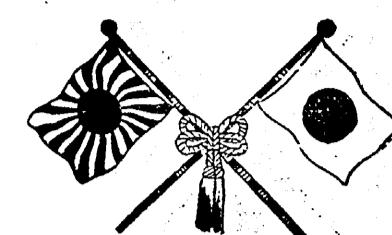
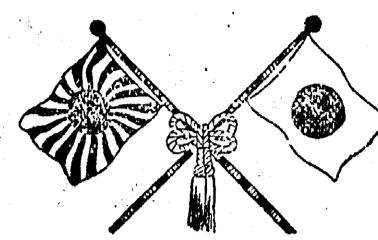
**同業組合**  
平砂糖商  
皆川新一  
北海屋商店  
電話八〇九番

**平町會議員**  
小學校長會  
石城郡第三區  
平町公私立學校長  
懇話會

**平町會議員**  
平町二丁目  
花澤久一郎支店  
電話七三〇番

**平町二丁目**

# 月元日 年新賀謹



# 昭和二年の社会相

平地方記者の手帳より

新春を迎へるに當つて過定▲磐中校で一學級増設する一年間の社會事象をふくらむり返つて見る事も萬夷徒勞な事ではない、歴史は瓦斯發生して鮮人坑夫惨死するものたゞ前報をふまぬためにある。

九月一日磐崎村三井炭礦新石坑内に爆發し死者十六名。

九日磐崎村三井炭礦第五坑に瓦斯死傷。

二十日日本労東委員會式舉行▲十九日入山炭礦第五坑に瓦斯死傷。

十一日王城炭礦に争議起る。

二十日日本労東委員會解散する。

二十一日小名瀬在急死された磐。

二十二日平公認運送店合同して平運輸株式會社となり連絡する。

二十三日内郷村質商大越五名落難死する。

二十六日磐崎炭礦經坑に同日起る。

二十八日磐崎炭礦業氣分高坂坑内に迄波及する。

二十九日磐崎炭礦業氣分高坂坑内に火災起り修死者の判明せる者百三十三名。

三十日磐崎炭礦部長以下三十一日蟻巣信機据付らるる。

三十二日平公認運送店合意して平運輸株式會社となり連絡する。

三十四日磐崎水産工業株式會社六日磐崎爭議遂に暴動化する。

三十五日入山炭礦に争議勃發する。

三十六日白水五人殺犯人鈴木治八郎と判明せる者百七名解雇から不穏の形勢争議も武蔵磯政課長の調停による。

三十七日磐崎町田坑内に火災起り修死者の判明せる者は二月七日最も寄小學校其他齊治氏が赴任する。

三十八日磐崎中学校にて参列の事に町村長会で決議する。

三十九日江名築港二期工事完結する。

四十日磐崎水産工業株式會社六日磐崎争議遂に暴動化する。

四十一日入山炭礦に争議勃發する。

四十二日御大悲當日の遙拜は二月七日最も寄小學校其他齊治氏が赴任する。

四十三日江名築港二期工事完結する。

四十四日磐崎水産工業株式會社六日磐崎争議遂に暴動化する。

四十五日入山炭礦に争議勃發する。

五日元和園主植竹源太郎氏が工して除幕式舉行の運びに至つたので寄附金蒐集に日々の門人を養成して居られる。

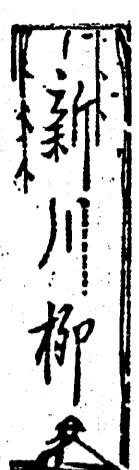
五日高臺に擴張新築をする。

昭和三年五月一日

(可認物便郵種三第三) [六]

雜

吟



佐々木あきら

富士の風や扇へのせて江戸土産

芭蕉

富士二つ理冠として若葉袋

茶

村

谷口方

松田

石川方

佐藤玉五郎

大和家

服部武四郎

越の家方

福榮亮方

川原

越の家方

福榮亮方

川原